

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム：こはちゃん さん からの質問

各動物担当の皆さまは、担当の動物たちの
心情や気持ち、これからの動きなどを
どういったところから見分けたり、理解したり
しているのですか？

ご質問、ありがとうございます。

動物園にはたくさんの種類の動物がいますが、飼育員はどのように動物の気持ちや動きを見分けているのでしょうか。今回は、カピバラ担当の飼育員からお答えします。

カピバラはほとんど表情筋がないため、人のように顔を見ることで心情を察することは難しい動物です。



しかし、耳の傾きや鳴き方、目の細め方によって、ある程度感情を推定することができます。例えば、「ブ

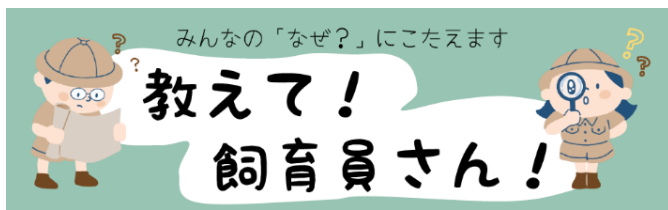
ツ」と大きな声で鳴くのは、びっくりしている時、うなったり、歯をカチカチ鳴らしたりするのは、イライラしている時に見られる行動です。

また、リラックスして水に浸かっている時は、目をつむるくらい細めて、耳を後ろに倒し「キューイ」と高い声で鳴きます。



このほかにも、鳥担当の飼育員からは『エサの残し方や糞尿、歩き方、飛び方、休み方などをよく観察し、動物たちのサインを見逃さずにとらえる』という回答が、チンパンジー担当飼育員からは『動物それぞれに行動パターンがあるので、何をしようとしているかある程度予想できます。チンパンジーなどは、表情からどんな気持ちなのか予測することはできますが、本当にそう思っているかはわかりません』との回答がありました。

「動物をよく観察する」ということが、どの担当者にも共通しているようです。それぞれの動物の様子を観察し、それを日々積み重ねることで、飼育員は動物の気持ちを察することができるようになるのかもしれない。



それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: こはちゃん さん からの質問

各動物担当の皆さまは、担当の動物たちの
心情や気持ち、これからの動きなどを
どういったところから見分けたり、理解したり
しているのですか？

ご質問、ありがとうございます。

動物園にはたくさんの種類の動物がいますが、飼育員はどのように動物の気持ちや動きを見分けているのでしょうか。今回は、対州馬の担当飼育員からお答えします。

動物の気持ちは、動物をたくさん観察することで、表情や行動から感じ取ることができるようになります。対州馬の場合は、耳の動き方で気持ちがわかります。



特に何も無い時の馬の耳は、正面を向いていますが、嫌な気持ちになった時や怒っている時の耳は後ろ側に倒れます。他にも、リラックスしている時や緊張している時など、耳の動きは様々に変わります。

対州馬を担当したばかりの頃は、ウマの気持ちがわからず、自分もウマも困ってしまう…ということがたくさんありましたが、ずっと観察を続けているとウマが送ってくるサインやメッセージに気が付くことができるようになりました。

担当している他の動物も同じように、たくさん観察を続けることで、「これは大丈夫そう」「これは嫌そう」という感覚がわかるようになり、少しずつ距離が縮まっていったように思います。



このほかにも、アフリカゾウ担当飼育員からは、『ゾウは行動や目・耳・しっぽの動きで心情の変化が読み取れます。その動物をよく観察すること、新しい動物のお世話をする時はベテランの飼育員のアドバイスや動物への接し方を見て学ぶことが大切です』という回答がありました。

動物の様子を観察し、それを日々積み重ねることで、飼育員は動物の気持ちを察することができるようになるのかもしれませんが。